

なぎさ

京急のまちマガジン

February 2026 No.655

特集 三崎口駅
海街モーニングトリップ



赤い電車は赤い糸

君は向こうのホームに
仲良しとおしゃべりしてる
僕はこっちのホームで
僕が君を見ていると気づかれないように
ポケットに手をつつこんで
後から来た男友達と話してる
君の高校はあっち
僕の高校はこっち
君の赤い電車の方が先に来てしまふ
僕のは少し遅れてやってくる
君が電車に隠れる瞬間
こっちを見てくれる
毎朝会うけど
存在があるような
ないような
朝の一瞬のデート
その君と結婚できて
今も赤い電車に乗って
あっちとこっちと街に出かける
赤い電車は
赤い糸だったんだな

作／ペンネーム・駄洒落栖人



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「学生時代に通った、恋人とデートしたあの駅・あのまち」
京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

- 応募方法／はがきか封書、またはEメール下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。
①詩とタイトル（詩は300字程度）②郵便番号、住所 ③氏名（匿名希望の場合はペンネームも）④年齢 ⑤性別
⑥電話番号、（Eメール応募の場合）メールアドレス ⑦本誌のご感想
- 締め切り／2月16日（月）消印有効
- 応募先／〒220-0011 横浜市区高島1丁目2番8号 ㈱京急アドエンタープライズ『なぎさ』655号 詩募集係
E-mail：nagisa.hiroba_e37@keikyu-group.jp

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード（1,000円分）を進呈します ※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。
応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります ※応募作品の使用権は京浜急行電鉄㈱
に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます

読者プレゼントはWEB応募になりました！

右の二次元コードを読み込んでアンケートに回答してくださった方の中から、
抽選で京急オリジナルQUOカード 1,000円分（10名さま）をプレゼント！

〔締め切り〕2月22日（日）23:59



※ご応募いただいた方の個人情報は、作品掲載および賞品の発送以外の目的で使用することはありません

制作／noi 株式会社 Editor in Chief／殿井悠子

Editor／中野幸子（12、MIULIKE02）校正／森谷仁美 Designer／安田和樹、高野美緒子（MIULIKE）Photographer／森田晃博（表紙、特集、16）、岸本修平（10）
濱津和貴（MIULIKE）Writer／小新井知子（特集、16）、半澤剛吉（9）、佐藤雅子（10）illustrator／横山吉朋（2）、牛久保雅美（MIULIKE 表紙）



海街モーニングトリップ

三崎や城ヶ島で1泊したら、早起きして三崎の街めぐりを楽しもう。どこか懐かしさの漂う漁港には、地元の新鮮食材が集まる朝市や、朝日を受けてキラキラ輝く海を進む観光船、おいしいスイーツが味わえるカフェなど、ワクワクする出会いがいっぱい。海風を感じながら、心も体もずっと軽くなるプチトリップへ。



地魚を扱う大畑鮮魚の
店員さん。

夜明け前からにぎわう 港町でパワーチャージ

「まぐろの町」で有名な三崎港は、海産物と三浦の名産品の宝庫。早朝から三崎朝市で買い物と朝食を楽しんだら、観光船に乗って海を間近に感じてみよう。

5:00～8:30

三崎朝市

海と山の新鮮な 食材がずらり

毎週日曜日の朝5時から開催される名物朝市。まぐろをはじめ、地魚や旬の三浦野菜、豆腐、総菜などを扱う約30店がひしめき合い、威勢のいい声が響き渡る。特にまぐろはお買い得品ばかりで、お店には長蛇の列が。店員さんにさばき方や調理方法を聞いたり、交流も楽しい。



左上／三浦半島の漁港で水揚げされた魚介類が並ぶ「大畑鮮魚」。左下／「石渡農園」では三浦大根などのとれたて野菜を直売。上／「まぐろ専門店六栄」のまぐろ赤身パックは数量限定の特売品で、行列必至。

海の幸いっぱいの朝ごはん

朝市には屋台も多く出店。定番のまぐろ丼に加え、「トロちまき」や「もち米シウマイ」、「まぐろの爆弾おにぎり」などまぐろを使った珍しいメニューも。「伊勢エビのみそ汁」や「焼き牡蠣」は、温まりたいときに最適。イートインコーナーでゆっくり朝食を楽しめる。



伊勢エビのみそ汁 (600 円、特盛り 1,200 円)、焼き牡蠣 (400 円) はうまみが凝縮。もち米シウマイ (250 円)、トロちまき (500 円) は具材にまぐろを使用。



まぐろの醤油煮が入った
まぐろの爆弾おにぎり
(500 円)



9:00

にじいろさかな号

半潜水式の船に乗って

潮風とカモメと遊ぶ



広～い海と空が
目の前に!



三崎港にある「うらりマルシェ」の乗り場からかわいい半潜水式の観光船に乗り、約40分の海中散歩へ。海風が吹き抜ける船上は開放感たっぷり。城ヶ島大橋を抜けた先では、船の底にある展望室から泳ぐ魚たちを眺められる。船上ではカモメや魚にえさやりができて、生き物を身近に感じられるのもこの船ならではの。冬季は9:20から15:10まで7便が運航。



船の階段を降りると、まるで宇宙船のような展望室が広がる。海中展望場所に着くとエンジンを切って停泊するので、窓からメジナやスズメダイなどのびのび泳ぐ姿を観察できる。

11:00

うらりマルシェ

三浦の食材を使った
お土産探し



市場の活気あふれる「うらりマルシェ」には三浦のお土産が勢ぞろい。1階の「さかな館」はまぐろを中心に魚介類や水産加工品などを販売する12店舗が並び、2階の「やさい館」は三浦市内の農家が丹精込めて育てた新鮮野菜を直売。

魚音 (うおおと)

三崎漁港で4代続く鮮魚の老舗で、厳しい目で選んだ良質なまぐろが豊富に並び、ほほ肉やハチの子（こめかみ部分）など、珍しい部位も多く、素材に合った調理法を教えてくれる。



高梨農園

「さかな館」にある、鎌倉時代から代々農業を営む高梨農園の直売所。ここでは旬の三浦野菜に加えて、野菜や果物を使った手作りの無添加ジャムやピクルスなどの加工品を販売。

色とりどりの
無添加ジャム



左から、大根やニンジンなど季節の野菜が漬け込まれた「三浦ピクルス」(580円)、牛乳と混ぜるだけでOKの「かぼちゃスープの素」(800円)、ピリ辛のトマトペースト「トマハリッサ」(750円)。

昼下がりにはゆっくりと レトロな港町を散策

古い建物が残り、昭和レトロを感じる三
崎の街には、おいしいスイーツの店が点
在。歩きながら好みのお店をめぐる。

14:00

お気に入りのスイーツ探し

食べ歩きにぴったりの 日曜日だんご

和菓子処 宮田屋 (みやたや)

大正時代創業の地域住民に
愛される和菓子店。修業先
でだんご作りの腕を磨いた4
代目の川名大介さんが手が
ける、日曜日限定の「日曜日
だんご」は食べ歩きにおす
め。もっちりしただんごに
特製あんがからみ、何本も
食べたくなるおいしさ。



店主 川名大介さん

丁寧に手作り
しています



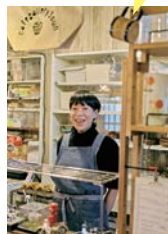
上/日曜日だんご (100 円〜) は左から、粉ごま、季節の味 (写真はい
ちご生クリーム)、みたらし、こしあん、ねりごま、あんずあん、栗あん、
黒糖。左下/あわび最中 (220 円)。右下/どら焼き (250 円〜)。



ボリューム満点の アメリカン・マフィン

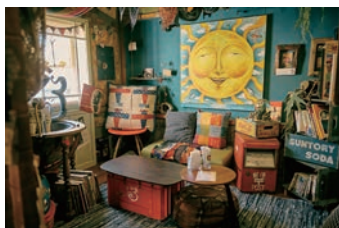
cafegallery3 (カフェギャラリーサン)

横須賀出身の菊地美紀さん
が三崎の街並みに一目ぼれ
してギャラリーを開店。その
後、幼いころに食べたアメリ
カン・マフィンをもとにレシ
ピを研究して提供したところ
評判になり、マフィン専門
店に。常時約4種類が並び、
週替わりでメニューが変わ
るのもお楽しみ。



店主 菊地美紀さん

常に新メニュー
を考案中です



左上/マフィンは 590 円〜。左下/ス
ウィートミルクティー (490 円) と一緒
に。右下/ポップな店内。右/クラフ
トシロップレモンスカッシュ (600 円)。



海を見渡しながら 自家製デザートを

雀家 (すずめや)

アウトドアコーディネーターとして活躍し、料理本も多数出版する小雀陣二さんが手がけるカフェ。2階の窓から三崎港を一望できる景色の良さが、ここで店を開く決め手になったという。プリンやケーキなど、シンプルな素材で作る自家製デザートが好評で、非日常を味わってほしいと、食器はアンティークなどこだわりのものを使用。木のぬくもりに包まれた空間で優雅なひとときを。

穏やかな海に
癒やれます



店主 小雀陣二
(こすずめ・じゅんじ) さん



左上／ほんのりビターなチョコレートタルト (600 円) とクリームココア (700 円)。左下／1 階のカウンターで注文して客席へ。左上／一番人気のすずめやプリン (450 円)。上右／雑貨や古着も販売。

駅チカカフェ&レンタサイクル ☕🚲

グルテンフリーの スフレパンケーキ

mito cafe (ミトカフェ)

「駅前に人が集まれる場所を作りたい」と、三崎口駅近くの丸石自動車の敷地内に 2022 年に誕生した mito cafe。看板メニューは、近隣の安田養鶏場の卵と関口牧場の牛乳を使った米粉 100% のスフレパンケーキ。注文後に 1 枚ずつ手焼きし、ふわふわの食感を実現。軽やかな甘さに魅了されるはず。

三浦の食材に
こだわっています



オーナー 石川優子さん



スフレパンケーキ・プレーン (950 円)、
はちみつハーブティー (700 円)。

みうらレンタサイクル

三崎口駅や三崎港の「うらりマルシェ」などで電動アシスト付き自転車を借りて、効率よく三崎の街を周遊しよう。三崎口駅をはじめ、5 つの観光拠点で返却が可能。

レンタサイクルのご予約や詳細情報については下記 URL をご確認ください。

<https://www.miuracycle.com/>

☎ 046-888-0588 (三浦市観光インフォメーションセンター)

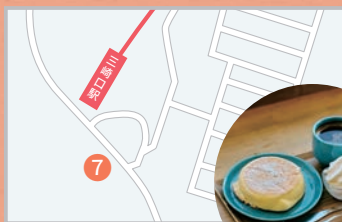
🚲 [3 段ギア付き電動アシスト自転車] 3 時間利用 1,000 円、1 日利用 1,800 円。延長料金は 1 時間ごとに 300 円、乗り捨て料金は別途 600 円。



「cafegallery3」の
マフィンを目指して
三崎の商店街を
散策してみよう



「宮田屋」は
三崎港のすぐ近く



三崎口駅に來たら
立ち寄って食べたい
「mito cafe」の
スフレパンケーキ♪

「雀家」は築50年以上の
味のある建物が目印



「三崎朝市」での買い物は
保冷バッグが
あると便利!



城ヶ島

城ヶ島大橋の
下を通るよ〜



城ヶ島大橋

にじいろさかな号航路

至 海中展望場所→

①三崎朝市

- [開催日時] 毎週日曜日5:00〜8:30
- ☎046-881-4488 (金〜月曜日
10:00〜15:00、三崎朝市協同組合)
- 📍三浦市三崎 5-3806 先
- 🚶三崎口駅から京急バス「三崎港」
下車徒歩約8分
- 🌐<https://misaki-asaichi.com>

⑤雀家

- 📍三浦市三崎 3-6-11
- 🚶三崎口駅から京急バス「三崎港」
下車すぐ
- 🕒土・日・月・祝日12時ごろ〜夕暮れ
(営業日時はインスタグラムを確認)
- 🔥火〜金曜日
- 📧@_suzumeya

②うらりマルシェ

- ☎046-881-6721
- 📍三浦市三崎 5-3-1
- 🚶三崎口駅から京急バス「三崎港」
下車徒歩約4分
- 🕒さかな館 9:00〜17:00 (日曜日
は7:00〜)、やさい館 10:00〜17:00
(土・日・祝日は9:00〜)
- 🔥年中無休
- 🌐<https://www.umigyo.co.jp/>

③にじいろさかな号

- 🚌🚶🚶 同上
- 🎫大人 1,700 円、小人 800 円、未
就学児 200 円※1歳未満は無料 (チ
ケット販売は9:00〜)

⑥cafegallery3

- ☎090-8558-9254
- 📍三浦市三崎 2-12-15
- 🚶三崎口駅から京急バス「仲崎」
下車徒歩約2分
- 🕒11:00〜17:00 (日曜日は9:00〜
／営業日時はインスタグラムを確認)
- 🔥不定休
- 📧cafegallerysun

④和菓子処 宮田屋

- ☎046-881-3519
- 📍三浦市三崎 4-7-1
- 🚶三崎口駅から京急バス「三崎港」
下車徒歩約2分
- 🕒7:30〜17:00
- 🔥月曜日
- 📧miyataya.3519

⑦mito cafe

- ☎050-8885-2850
- 📍三浦市初声町三戸 317-2
丸石自動車内
- 🚶三崎口駅から徒歩約1分
- 🕒9:00〜17:00 <LO16:30>
(土・日・祝日は17:30まで <LO17:00>)
- 🔥火曜日、年末年始※2・3・8月は無休
- 📧mito.cafe_

京急電鉄の謎 58

海と空の開放感、 KEIKYU OPEN TOP BUS MIURA は どうやって誕生したのか？

② 浦半島の2階建てバス「KEIKYU OPEN TOP BUS MIURA」をご存じだろうか。スウェーデンの自動車会社「スカニア」製のオーブントップバスで、京急電鉄が運営している。「KEIKYU OPEN TOP BUS」の始まりは、2017年。約3.5mの高さから雄大な空や海、大根畑など、三浦半島ならではの美しい景色、風、香りを楽しんでもらおうと運行をスタートした。初代は京急電鉄の「2100形」をイメージしたカラーリングと内装、

けいぎゅんの顔をイメージした正面デザインが話題を呼んだ。ルートをアップデートし、24年秋に2代目として誕生したのが「KEIKYU OPEN TOP BUS MIURA」。なんといっても、五感で三浦・三崎を楽しめる開放的な設計が特長だ。頭上は空、眺望はもちろん、空の青さ、湾のキラキラとした瞬き、磯の香り、畑の葉の匂いまで、しっかり感じられる。さらに、元自動車本部出身の経験豊富なガイド陣が、天候や交通状況を踏まえた

小ネタを入れつつ、楽しく案内。何度乗車しても、飽きさせない工夫が凝らされている。コースは海の景観を楽しむブルー、畑と富士山を望むグリーン、両方を体験できるホワイトの3種類あり、城ヶ島で下車するならブルー、グリーンコースに乗りよう。導入から1年余りで、観光客だけでなく企業研修や校外学習の問い合わせも増加中の「KEIKYU OPEN TOP BUS MIURA」。三浦半島の魅力を移動する展望台から発信し続けている。



「KEIKYU OPEN TOP BUS MIURA」は屋根のない2階席で開放的、全身で三浦半島の空気を満喫できる。



初代「KEIKYU OPEN TOP BUS」。2017年10月から運行を開始した。

乗車方法



「みさきまぐろきっぷ」
三浦・三崎おもひで券

「三浦半島まるごときっぷ」
施設利用 or お土産券

三浦海岸駅前の
案内所で座席指定券を
当日現金で購入





正面のガラス引き戸には、三崎宿の各棟の名称が入っている。1階のフロントは酒店としても機能しており、晩酌もこちらで。



宿 山田屋

三 崎港のバス停のほど近くで、目を引く木枠のガラス引き戸に瓦屋根。「山田屋酒店」の看板に古くからの酒店かと思いきや……。こは、古民家や古い商家をリノベーションした分散型ホテル「三浦半島の旅宿三崎宿」のうちの棟。1階が三崎宿のフロント、2階が「宿山田屋」となっている。「酒店だった山田屋さんの2階部分を改装して宿泊施設にしました」と、三崎宿を運営するミウラトラスト株式会社の中川康太さんが案内してくれた。

江戸の建物や昭和レトロなたずまいは、これから作ろうとしても作れないもの。それが三崎の街には残っている——。中川さんたちは、「街の風景をなるべく変えないまま、三崎を活性化したい」と、古い旅館や古民家など、地域の資源を生かしたゲストハウス、ホテルを運営してきた。

こうした活動を経て、2021年には、三浦市、官民のファンドである地域経済活性化支援機構（REMIC）、横浜銀行、

いま、見えてくる 京急沿線の未来

File. **59**

三浦に新たな宿場を。
「三崎宿」が目指す
三浦観光の未来

ミウラトラスト株式会社
中川康太



海南



葉山商店

右／「葉山商店」は築後約150年の漁具船具店を改装。表の蔵戸は、三崎宿のすべての棟に共通する設え。左／2025年にオープンした「海南」には、プライベートサウナを設置。水風呂は立ったまま入れる深さ。



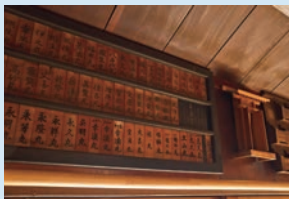
三崎宿を運営するメンバーの中川さんは横浜出身。他のメンバーは、学生時代の仲間たち。「子どものころ、遠足で来ていた三崎で仕事をするようになるとは思いませんでした」と笑う。

三浦半島の旅宿 三崎宿

🌐 <https://misakijyuku.jp/>



江戸の蔵宿



左／防火窓や柱など蔵の造りを残した趣ある居室。中／まぐろ問屋の店舗だったことから、玄関にはまぐろ漁船の名札がそのまま残る。右／江戸時代から続くといわれる蔵造りの建物に合わせて、新しい調度品を入れる際はアンティークや古道具などを調達。また、外装や内装には新建材を用いないようにして、時代感を大切にしている。

京急電鉄、そして、ミウラトラストの5者による「三浦市における地域資源を活用した観光活性化に関する連携協定」を締結。この連携を機に、棟ごとに運営していたホテルを集約し、分散型ホテルの三崎宿として22年にオープンした。現在は、「酒宿山田屋」「江戸の蔵宿」「古民家の旅宿」「葉山商店」「本陣」「入船」「海南」の計7棟を運営している。

どの棟も古民家や商家だったときの軀体を生かし、水回りなどは最新のものを設置。清潔で快適、機能性も優れた居心地を提供している。「建物の存在感や雰囲気は変えたくないで、内部も天井や欄間など、もともとあった設えをできるだけ残しました。その上で、どんなデザインが元の建物に合うか、地元の工務店、大工さんと話し合いながら決めています。これが楽しいんですよ」

ホテルを始めるにあたって大事な決まりことが「素泊まりにする」ということ。宿泊客には、フロントで周辺の飲食店を書き込んだ手製のマップを渡して、街を歩いてもらう。多くの棟はキッチンを用意しているので、商店街で買った新鮮な食材を調理し、味わうこともできる。

「僕たちが実際に行ったことのあるお店を紹介しています。最近はお客さまから新しくできたお店や見所を教えてください。うーん、ありますよ」

建物の魅力もあってか、三崎宿は好評を得て、リピーターも増えている。日帰り客が多いとされてきた三崎に、朝も夜も海のそばで暮らすように過ごせる「港町ステイ」が広がっている。

右／100年以上前に建てられた金物店を改装。左上／入ってすぐの元店舗部分は広々とした土間リビングに。ゆったり過ごせる。左下／リビングの先は蔵造りで、一番奥が木造の座敷となっている。奥行きのある町屋の雰囲気味わえる。



古民家の旅宿



ビタミンが豊富ないちごは、
おいしい風邪予防アイテム。
ミルクをお供にパクパク♪

併設するカフェの
人気スイーツは
農園のとれたていちごが
ゴロゴロのったパフェ。



嘉山いちごの
エクストラ
プレミアムパフェ
2,508円

A 嘉山農園

いちごがおいしくなるこの時期に、いちご狩り
もいちごのスイーツも楽しめる農園へ。ミネラ
ルたっぷりの土で育ったいちごは甘味と酸味
のバランスが良く、いくつでも食べられそう！

☎ 090-3237-1583 📍 横須賀市長井 1-12-28

🚶 駅から長井行きバスほかで「小根岸」下車徒歩約4分
🕒 農園 / 10:00～16:00、カフェ / 11:00～16:30 (ラン
チLO13:30、ほかLO16:00) 📅 農園 / 1月1日のみ、
カフェ / 水曜日、年末年始 🍽️ いちご狩り料金 (30分食
べ放題) / 2,800円 (3月9日～4月5日は2,600円)
※いちご狩りは要予約

F 三浦三崎ストア

三浦野菜やそれらを使った加工品など、エリ
アを知り尽くすスタッフがセレクトした三浦の
逸品が並ぶ駅前ショップ。旅の終わりに立ち
寄って、お土産選びを楽しもう。

☎ 046-854-9184 📍 三浦市初声町下宮田 495
🚶 駅から徒歩約1分 🕒 10:00～18:00
📅 月～水曜日 ※2月は無休予定



ひと駅ごとに行きたいまち

京急線 普通電車の旅

2nd Season / vol.22

み さ き ぐ ち
三 崎 口 駅 編

三浦の食べ歩きロードへ

三崎口駅を出て国道134号を北上する
と、にぎわいと自然が共存するエリアが
ある。にぎわいをつくっているのは、個
性豊かなオーナーたちが切り盛りするグ
ルメ店。三浦の南に三崎港があれば、
北には食べ歩きロードあり！

このエリアのおもしろポイント 5

- 1 線路沿いの河津桜が見ごろ
- 2 朝どれ野菜が並ぶ直売所があちこちに
- 3 一見の価値あり「みうら景観資産 📷」も点在
- 4 初声町は和田氏など三浦一族のゆかりの地
- 5 移動は京急バスかレンタサイクル🚲が便利
※みうらレンタサイクルはP7へ



小網代のはちみつ
150g 1,000円

miura
curry
830円

大根梅ゆずピクルス
750円

ハッケー買いが
楽しめそうなアイテムも！

B リバイバルカフェ

古いものと車好きの三崎由湖さんが築 100 年といわれる蔵をリフォームしてオープンしたカフェ & クラシックカー販売店。クラシカルで重厚な店内は昭和にタイムスリップした心地が味わえる。

☎ 046-845-6224 ⑨ 三浦市初声町和田 2650-3
 ④ 駅から長井行きバスほかで「矢作入口」下車徒歩約 1 分
 ⑤ 11:00～18:30 (フード LO17:30、ドリンク&スイーツ LO 18:00、土・日・祝日は 10:00～) ※12～2月はすべて 30 分前まで 休 木・金曜日、年末年始



三崎さんの愛車、1965年式の英国車「トライアンフ・スピットファイアMk1」が見られるかも。

定番のタコライスには、新鮮な三浦野菜がいもりもり。



タコライス 1,600 円

C 三浦パン屋 充麦

「自分にしかつくれないパンが作りたい」と、自身で小麦からつくっている蔭山充洋さん。レシピは旬の食材や友人との会話からひらめくことも。パンとの一期一会があるベーカリー。

☎ 046-854-5532 ⑨ 三浦市初声町入江 54-2
 ④ 駅から徒歩約 19 分または駅から長井行きバスほかで「矢作入口」下車徒歩約 2 分 ⑤ 7:00～16:00 (月・金曜日は 8:00～) 休 火・水曜日



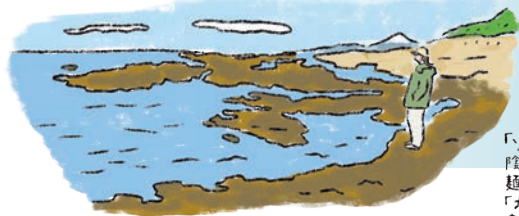
無農薬で育てた
ひきたての小麦を
使っています！



きのこと
グリユエールアリゴ
480 円

ブルーチーズと
ねぎと柚子胡椒
380 円

空気が澄んでいる日は
富士山が見えることも。



三浦一族の
拠点

和田城跡



黒崎の鼻

D 黒崎海岸

やぶにおおわれた小道を抜けた先にある海岸。風と波の音しか聞こえない絶景の岩場は秘境感満載。

④ 駅から長井行きバスほかで「宮田」下車徒歩約 18 分

「ソースマクロかつ丼」の
隠の主役は自家製ソース。
麺の一番人気
「カタヤキそば」の
直径は 32cm!



ソースマクロかつ丼 並 1,300 円
カタヤキそば 1,400 円

たまにはバスの方々も
いいね♪



河津桜



小網代の森
↓



三崎口駅
牧之内 猛 さん

「旅がはじまる！」
と思える京急線終点駅

この時期は駅の周辺の畑に大根や早春キャベツなどが緑のじゅうたんをつくり、その向こうに海が見えます。駅から南下したところにある自然豊かな小網代の森も散策にぴったり。都会では味わえない空気感と旅感をぜひ味わってください。

E まるい食堂

創業 58 年を迎える定食店。50 種類以上あるメニューの多さと“並なのに大盛り”は、2 代目店主・猪熊一也さんのこだわり。ランチタイムは混雑覚悟。

☎ 046-888-2011 ⑨ 三浦市初声町下宮田 2756
 ④ 駅から徒歩約 13 分 ⑤ 11:00～14:00 (LO13:50)、
 17:00～20:00 (LO19:50) 休 火曜日

株式会社クラフトガレージ

三浦漁港に泊まれるブルワリーが誕生 「TAP INN MIURA」



三浦半島最南端にあるクラフトビール醸造所「MIURA brewery」の2階に、宿泊用の客室が誕生しました。全室に樽から注ぐクラフトビールのビアタップ

を完備。クラフトビールが自由に楽しめるステイを、ぜひお楽しみください。

■住所／三浦市三崎 1-10-12

■お問い合わせ／046-876-8095



詳細はこちら

京急百貨店

「バレンタイン2026 メルシーショコラ」



『ジャン＝ポール・エヴァン』や『ピエール マルコリーニ』といった人気の海外ショコラティエに加え、『トシ・ヨロイヅカ』などの国内ショコラティエをご紹介します。また、『こ

当地パン』コーナーや鎌倉のベーカリー『カノムパン』が初登場する「パン特集」を同時開催いたします。

■開催期間／開催中～2月14日(土) 18:00まで ■会場／7階 催事場(京急線上大岡駅直結) ■詳細／<https://www.keikyu-depart.com> ■お問い合わせ／0570-045-848(ナビダイヤル)



京急電鉄ほか

春がはやく来るまちへ

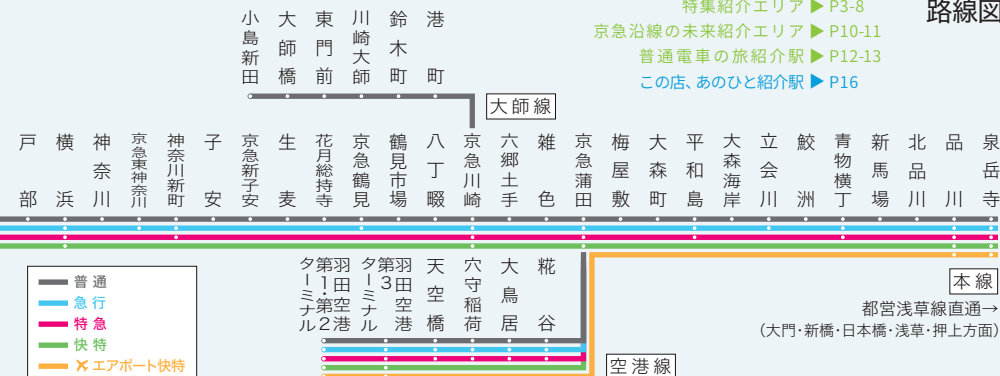
「三浦海岸河津桜 2026」キャンペーン

三浦海岸河津桜を見に行くなら、「みさきまぐるきつぷ」「三浦半島まるごときつぷ」がおトク！ キャンペーン期間中、一部店舗の「三浦・三崎おもひで券」の引き換え商品が期間限定メニューに変わり、三浦海岸駅前に設置されるテント村でもご利用いただけます。また、京急オリジナルデザイン「サクマデコロップス」がもらえるスタンプラリーも開催！ 河津桜のヘッドマークを付けたイベント列車や三浦海岸駅の駅名看板が桜デザインになってお目見えしますのでお楽しみに！

■開催期間／2月11日(水・祝)～3月3日(火) ■詳細／<https://www.keikyu.co.jp/cp/kawazu2026> ■お問い合わせ／03-5789-8686または045-225-9696(京急ご案内センター)

路線図

特集紹介エリア ▶ P3-8
京急沿線の未来紹介エリア ▶ P10-11
普通電車の旅紹介駅 ▶ P12-13
この店、あのひと紹介駅 ▶ P16



京急沿線マガジン「なぎさ」「MIULIKE」バックナンバーは、京急電鉄オフィシャルサイト「[KEIKYU WEB](https://www.keikyu.co.jp)」でお楽しみください。





京急電鉄ほか

「第41回三浦国際市民マラソン」を応援しよう！

三浦国際市民マラソンは、記録を狙うよりも完走することを主目的とした健康マラソンです。また、海外のマラソン大会の中で日本人にダントツの人気を誇る「ホノルルマラソン」と国内で唯一、姉妹マラソンの関係にあるマラソン大会でもあります。当日は、「食のまち」三浦ならではのグルメが楽しめる「みうらうまいもの市」を開催するなどイベントも盛りだくさんです。ランナーはもちろん、応援にお越しいただいた方もお楽しみいただけます！みなさまのご来場、お待ちしております！！

※選手の参加エントリーは終了しています

■開催日／2026年3月1日(日) ■開催場所／三浦海岸交差点前砂浜 ■実施種目／5km ラン(三浦海岸道路折り返しコース)、10km ラン(三浦海岸～松崎折り返しコース)、ハーフマラソン(三浦海岸～城ヶ島折り返しコース)、キッズビーチラン(三浦海岸砂浜)



京急グループ

京急グループではお子さまの成長を応援しています！

京急ミュージアム 6 周年記念

「POKAPOKA けいきゅうフェスタ」開催！

お子さまの「大好き」がたくさん、ワクワクの2日間！京急ミュージアムで、京急らしさを詰め込んだ「キッズランウェイ」や「赤ちゃんはいはいレース」「てあそび歌ステージ」などを開催します。プロカメラマンによる「キッズ制服撮影会」も実施。みんなで遊びにきてね！

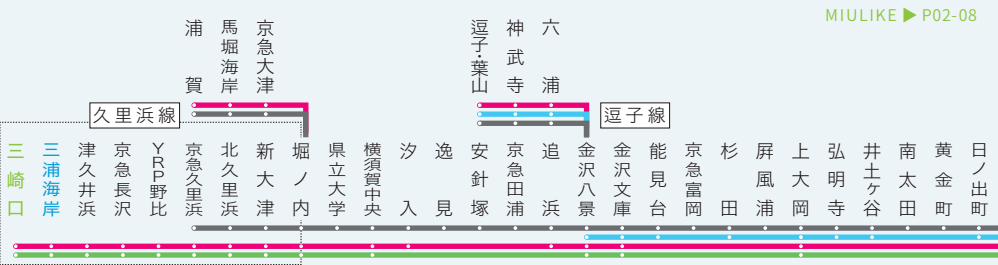
※一部予約が必要なプログラムがございます

■開催日／2月7日(土)・8日(日) 10:00～16:30 ■開催場所／京急ミュージアムおよびホールA・Bほか ■詳細／https://www.keikyu.co.jp/company/news/2025/20260116HP_25172MK.html ■お問い合わせ／03-6416-0162(株式会社ニコ・ワークス)



詳細はこちら

京急グループはお子さまのおでかけも応援しています！
京急線全区間の小児IC運賃は75円(空港線加算運賃は別途ご負担)、京急バス全区間の小児IC運賃は100円で乗車できます。



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは
京急ご案内センター (受付時間)9:00～17:00 年末年始は休業
※営業時間に変更となる場合がございます。
03-5789-8686 / 045-225-9696
京急ホームページ www.keikyu.co.jp

なぎさ 655 号 MIULIKE Vol.29 2026年2月1日発行
発行／京浜急行電鉄株式会社
〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号
☎ 03-5789-8686 / 045-225-9696
編集／株式会社京急アドエンタープライズ 印刷／山陽印刷株式会社

吉田さんが考案した
三浦大根フルコース

フルコースの
レシピを掲載

- 大根とマグロのサラダ
- 大根といわしのスープ
- 大根ステーキ・バラの花添え
- 菜飯ごはんの一口おにぎり
- 大根フラン



『三浦大根と私の台所』
吉田和子著

※やまさ園直売所、うらりマルシェなどで販売中



左／大ぶりで煮崩れない特性を生かした「大根ステーキ」は、味がよくしみて美味。右／大根の甘みとカスタードがよく合う「大根フラン」。



上／三浦大根を収穫する吉田さん。
長さ約60cm、重さは3kg以上になる
ので、引き抜くのも重労働。
下／青首大根(左)と三浦大根(右)。



この店、あのひと

35

三浦海岸駅

三浦大根を未来に残すために
生産農家が伝える「フルコース」

吉田和子さん
ともこ



三浦半島の海と風に育てられた三浦大根は、肉質が緻密で柔らかいため煮崩れしにくく、火入れで甘みが増すのが特徴。12月から3月にかけて三浦半島地域の直売所で購入できるが、出荷量は同地域の大根全体のわずか1%と希少な品種だ。そんな伝統野菜を生かした料理が、吉田和子さんが考案した「三浦大根フルコース」。葉やゆで汁もあますことなく使い、前菜からデザートまで、多彩な技で大根のおいしさを引き出している。

三浦海岸で農業を営む吉田さんは、60年以上三浦大根の生産に携わってきた。フルコースを発売したのは1992年のこと。かつて三浦大根は主力品種だったが、消費者ニーズの変化に伴い青首大根が主流となったため、生産量が激減。そこで、「三浦大根を絶やさないため

に、おいしい食べ方を発信しよう」と考えた。大根を知りつくした吉田さんが腕を振るった全5品のフルコースは、93年に旧国土庁主催の「食アメニティ・コンテスト」で長官賞を受賞。吉田さんが教える料理講習会も各地で大評判を呼んだ。83歳を迎えた今も、三浦大根を次の世代に伝える活動を続けている。

「三浦大根は栽培に手間がかかるし、大きくて収穫も大変だけど、そのぶん愛着がある。大切に食べてもらえたらうれしいです」と吉田さん。

三浦半島を訪れたら、ぜひ三浦大根をお土産に。独特の味わいを楽しみながら、土地の歴史に思いをはせてみては。

(お問い合わせ先)

やまさ園直売所

@yamasaeen_803

📍三浦市南下浦町上宮田 3390-2

🚶三浦海岸駅から徒歩約5分

🕒火・木・土・日曜日